



予防接種のルールと注意点

異なる種類のワクチンを接種する際の間隔と、ワクチンの種類について

☰ ワクチンの種類

ワクチンは大きく分けて「生ワクチン」と「不活化ワクチン」の2種類があります。

✳ 生ワクチン	🛡 不活化ワクチン
<p>【注射生ワクチン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 麻しん風しん混合 (MR) ● BCG ● 水痘 (みずぼうそう) ● おたふくかぜ <p>【経口生ワクチン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロタウイルス 	<p>【不活化ワクチン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インフルエンザウイルス ● 帯状疱疹 ● RSウイルス ● ヒトパピローマウイルス ● 肺炎球菌 ● B型肝炎 ● 日本脳炎 ● 新型コロナウイルス

📅 異なるワクチンを接種する間隔

令和2年の改正により、「注射生ワクチン」同士を接種する場合のみ間隔を空けるルールとなりました。それ以外の組み合わせ（経口生ワクチンを含む）には制限はありません。

注射生ワクチン



注射生ワクチン

⚠ 27日以上あける

効果を十分に出すため必要です。

不活化ワクチン



注射生ワクチン

🟢 制限なし

翌日でも同時接種でも可能です。

🚶 接種後の過ごし方



接種後30分は経過観察が必要

じんましん・吐き気・呼吸苦等の症状が出たらすぐに申し出てください。



当日の入浴はOK

入浴は問題ありませんが、注射した部分を強くこすらないようにしてください



激しい運動は控える

当日は激しい運動や大量の飲酒は避け、普段通りの生活をしてください。



副反応について

帰宅後も高熱やぐったりしている等の異常があれば、すぐに当院へ連絡してください。

※接種スケジュール等でご不明な点がございましたら、医師・看護師までお気軽にご相談ください。